仙台緑丘会 2019 総会 を開催しました

仙台緑丘会は６月７日（金）、2019 総会を仙台市の「パレスへいあん」で開催し、23 名に参加いただきました。

総会では全議案を承認いただき、橋本会長は「商大仙台試験場は 2 年目。今年も商大入試室の運営に全面協力していきたい」と新年度の抱負を語りました。

また、今回は、小樽商大・和田学長、緑丘会・島崎理事長、天野小樽支部長を来賓にお迎えしました。

和田学長の講演では、冒頭に当会が仙台試験場運営に全面協力していることに謝意が示されました。また、小樽商大と帯広畜産大、北見工大が進めている国立三大学統合の現状について説明をいただきました。

島崎理事長からは、今回、緑丘会理事に仙台、道北、帯広の代表に就任してもらいネットワークを強化したことが報告されました。さらに、商大 110 周年記念募金事業への幅広い協力を呼びかけられました。

天野支部長は、仙台と小樽との緑丘のつながりをさらに強くしていきたいと思う。仙台緑丘会の活動を参考に、小樽支部も活性化していきたいと挨拶されました。

懇親会は、橋本会長の乾杯の音頭でスタート。2018 年度の当会行事報告、商大硬式野球部から全日本代表候補の選出、北大応援団との対面式などの話題が動画でスクリーン上映されました。

参加者の中には、卒業以来、数十年ぶりの再会もあり、賑やかに緑丘交流を深めました。ご参加いただいた皆様方、たいへん有難うございました。